

# エルサルバドル政治経済月報 (2024 年 8 月)

2024 年 9 月  
在エルサルバドル大使館

## 内政

### 1. 水道公社 (ANDA) 総裁の交代 (大統領府)

8 月 20 日、2020 年 9 月から ANDA の総裁を務めていたアレマン氏の後任としてカスタニェダ氏が新総裁に就任。大統領府の SNS にて、カスタニェダ総裁の宣誓式が行われたことが発表された。

### 2. ブケレ大統領の「TIME」誌インタビュー (大統領)

8 月 29 日、ブケレ大統領は、自身の SNS アカウントにて米「TIME」誌の表紙及び巻頭インタビューに対応したことを発表。同インタビューのポイントは以下のとおり。

(1) 例外措置体制は準備が整えばすぐに撤廃したい。現政権は、米国政府に批判されたようにギャングと交渉することも便宜を図ることもない。

(2) ビットコインの導入では、もっとできたこともあったと思うが、「先駆者」としての利益はあると考える。

(3) 憲法 152 条が禁止しており、妻との約束もあるので、2029 年に再出馬はしない。



(出典：TIME 誌 HP)

## 外交

### 1. アジアインフラ投資銀行 (AIIB) 加盟に係る国内手続き (8 月 10 日付ラ・プレンサ・グラフィカ紙)

ヒル外務大臣は、議会に対して AIIB 加盟に必要な国内手続きである設立協定の批准に関して承認を要請する書簡を発出。エルサルバドルは 2023 年 6 月に AIIB への加盟意思表明し、同 9 月に AIIB 執行部により承認されていた。

### 2. ウジョア副大統領のドミニカ共和国大統領就任式への出席 (副大統領府他)

8 月 16 日、ウジョア副大統領はドミニカ共和国を訪問し、エルサルバドル政府を代表してアビデナル・ドミニカ共和国大統領就任式に出席した。また 15 日にはペニャ副大統領と会談した他、国立水資源研究所を訪問した。

### 3. プリンス米ブラックウォーター社創業者のエルサルバドル訪問（大統領）

8月18日、ブケレ大統領は、自身のSNSに、プリンス米ブラックウォーター社（民間軍事企業）創業者との面談した動画を掲載。同動画にて、プリンス氏はテロ対策センター（GECOT）を訪問して印象を受けたと述べた他、米 국무省がエルサルバドルを引き続き危険な国と分類していることに憤りを覚えると述べた。

### 4. ミラ外務副大臣の中国訪問（外務省）

8月21日～23日、ミラ外務副大臣は中国を訪問。21日には外交関係樹立6周年の枠組みで、華春瑩（HUA Chunying）中国外交部副部長と会談した。また、ラ・リベルタ港の棧橋や国立図書館、イロパング湖の浄水場を含むプロジェクトを実施した中国国家国際発展合作署（CIDCA）代表者と会合し、実施中のプロジェクトの進捗について協議した。更に23日には、深セン市のHuawei社の施設を訪問、同社とは「未来のための種」及び「テクノロジーにおける女性」といった教育・育成計画における支援がある他、技術の使用及び教育のデジタル化に焦点をおいた取り組みを支援しており、エルサルバドルは生産プロジェクト及びビジネスと協力を推進するための盟友としてさらなる協力を模索している。

### 5. シソン米国際機関担当国務次官補の来訪（外務省及び副大統領府）

(1) 8月21日～27日、シソン米国務次官補はエルサルバドル、グアテマラ及びチリを訪問し、22日にヒル外務大臣及びウジョア副大統領と会談した。

(2) ヒル外務大臣は、会談において、治安、社会基盤の再構築や不法移民の構造的原因を撲滅するためのエルサルバドル政府の努力における進捗等について言及。両者は世界的課題に立ち向かうための多国間主義の役割について意見交換し、同テーマを強化する重要なスペースは国連総会であるとした他、国際場裡において協働する形で取り組み続ける重要性で一致した。

(3) ウジョア副大統領は、会談において、グローバルな課題に立ち向かうための協働の約束を再確認し、次回の国連総会ハイレベルウィークを含む共通の関心事項等について扱った。また、両者は、エルサルバドルにおける投資促進イニシアチブ、ビットコイン法やデジタル資産法、技術イノベーション及び製造促進法といった法的枠組み作りについて協議した他、相互尊重と共通する関心を基とする国民のための二国間協力を強化するメカニズム設立を継続することで一致した。

### 6. インドとの二国間協力に関する合意文書・覚書の署名（外務省）

8月26日、ヒル外務大臣は、エルサルバドル訪問中のパビトラ・マルゲリータ・インド外務・繊維担当閣外大臣と会談し、自然災害の早期警報プロジェクトの実施のための協力合意文書への署名を実施したほか、二国間でサイバーセキュリティ分野での協力関係の枠組みを法的に整備するための覚書に署名した。また、インドからは大雨やデング熱被害に

対する支援として、50 トンに及ぶ食糧や資機材の供与が行われた。

## 経済

### 1. ブケレ第二期政権による経済計画フェーズ3：ロジスティックスの発表（大統領）

8月11日、ブケレ大統領は、自身のSNSにて、第二期政権における「経済計画」のフェーズ3「ロジスティックス」を発表した。トルコのイルポート社（Yilport Holding）が16億ドルを投資し、CEPA（エルサルバドル港湾空港運営委員会）との混合所有会社（mixed ownership company）を通じて2024年末から今後50年間の港湾整備・運営を担う。第一段階として、アカフトラ港のインフラ改善により入港の待機時間削減を目指す。第二段階では、ラ・ウニオン港において、利用に必要な水深維持のため浚渫を行い、クレーン、ローダー、バックホーなどの最新機材を導入し、港湾施設能力を3倍に高める。なお、8月27日、CEPAは、イルポート社との公私合同企業（「太平洋港湾連合（Unión Portuaria del Pacifico）」）の設立を発表した。

### 2. 国際通貨基金（IMF）スタッフステートメントの発表

8月6日、国際通貨基金（IMF）は、エルサルバドルとの借款交渉の進展についてスタッフステートメント（IMF Staff Statement on El Salvador, Press Release No. 24/302）を発表した。IMFは、プログラム支援に向けた交渉は進展しており、焦点は、財政強化のための政策（今後3年間の基礎的財政収支をGDPの約3.5%改善）、準備金確保、ガバナンスと透明性向上、ビットコインのリスク軽減とした。

### 3. インド企業による鉄道及びケーブルカー建設（8月21日付ディアリオ・デ・オイ紙）

8月20日、中米歴訪中のマルゲリータ・インド外務・繊維担当閣外大臣は、モハパトラ駐グアテマラ・インド大使がエルサルバドルで主催したイベントにて、インド政府の支援により、インド企業がエルサルバドルに全長22キロメートルにおよぶ鉄道及びケーブルカー4路線の建設を行う予定であると発表した。但し、鉄道およびケーブルカー建設にかかるコストや起工・竣工予定日といった詳細は明らかになっていない。

### 4. ペルーとのFTA交渉開始（経済省）

8月23日、経済省はSNSにて、アエム経済大臣がペルーのガルド貿易・観光大臣の訪問を受け、両国間の自由貿易協定締結の可能性を含めた貿易関係強化、経済成長戦略について協議したと発表した。

### 5. 中国との自由貿易協定に向けた交渉第1ラウンドの実施（経済省）

8月31日、経済省はSNSにて、8月26日から28日にかけて北京で行われた中国との自

由貿易協定交渉に係る第１ラウンドの終結についてプレスリリースを発出し、知的財産保護、中国市場におけるエルサルバドル製品のアクセス・流通、両国の貿易の円滑化、電子商取引促進のためのデジタル経済、中小企業の認知と支援、経済力強化のための協力において重要な進展があったと発表した。